

令和8年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜

募集案内 I

入学者選抜
の概要

令和8年度
の変更点

インター
ネット出願

入学者選抜
の流れ

調査書
の見本

神奈川県
公立高等学
校の所在地

この「募集案内 I」には、令和8年度神奈川県公立高等学校の入学者選抜に関する基本的な情報を掲載しています。みなさんの高等学校選択を確かなものとするため、このリーフレットを十分に活用してください。

各高等学校の選考基準、Q & A、受検料、就学支援金制度等については、神奈川県教育委員会ホームページにある「募集案内 II」に掲載しているので、併せて確認してください。

募集案内 I ・ II <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/bosyuannai.html>



県内私立高等学校入
学者選抜に関する情報
は、「募集案内 II」28～
29 ページを確認して
ください。



受検料、就学支援金
制度等に関する情報
は、「募集案内 II」30～
34 ページを確認して
ください。



県外・海外・私立等か
ら受検する人は、神奈
川県教育委員会ホーム
ページを確認してくだ
さい。



【問合せ先】

県立高等学校	神奈川県教育委員会教育局指導部高校教育課	(045)210-8084 (直通)
横浜市立高等学校	横浜市教育委員会事務局学校教育部高校教育課	(045)671-3272 (直通)
川崎市立高等学校	川崎市教育委員会事務局学校教育部指導課	(044)200-3243 (直通)
横須賀市立高等学校	横須賀市教育委員会事務局学校教育部教育指導課	(046)822-8479 (直通)
私立高等学校	神奈川県福祉子どもみらい局子どもみらい部私学振興課	(045)210-3768 (直通)

1. 入学者選抜の概要

志願資格

※それぞれの課程において、次の①、②の両方を満たす必要があります。

全日制

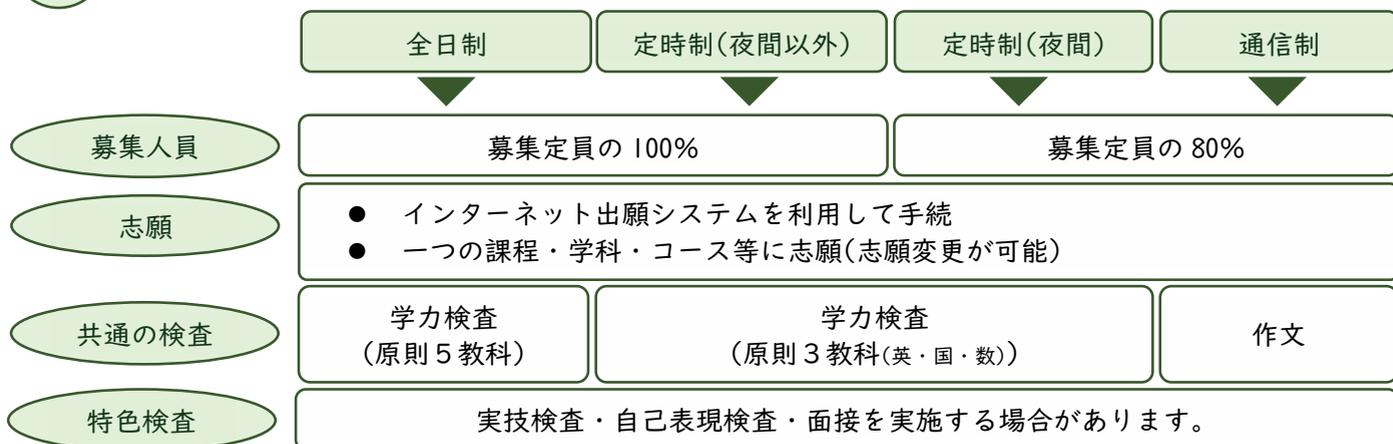
- ①平成23年4月1日以前に出生し、令和8年3月31日までに中学校を卒業または卒業見込みの人(これに準ずると認められた人を含む。)
- ②志願者とその保護者が神奈川県内に住んでいる人
※令和8年4月1日までに神奈川県内に転居予定の人は、事前に神奈川県教育委員会教育長の承認を受ける必要があります。

定時制 通信制

- ①平成23年4月1日以前に出生し、令和8年3月31日までに中学校を卒業または卒業見込みの人(これに準ずると認められた人を含む。)
- ②志願者が神奈川県内に住んでいるか、勤務地が神奈川県内にある人
※令和8年4月1日までに神奈川県内に転居予定または神奈川県内で勤務予定の人は、事前に神奈川県教育委員会教育長の承認を受ける必要があります。

選抜の機会

I 共通選抜



※一部の高等学校では、学力検査の教科数が異なる場合があります。特色検査の実施の有無を含め、詳細は「募集案内Ⅱ」の選考基準を確認してください。

※学力検査の外国語(英語)において、リスニングテストを実施します。

※クリエイティブスクール(県立釜利谷高等学校、県立横須賀南高等学校の普通科、県立小田原城北工業高等学校・県立大井高等学校の再編・統合校の普通科、県立大和東高等学校および県立田奈高等学校・県立麻生総合高等学校の再編・統合校)では、学力検査を行いません。

※追検査については、「募集案内Ⅱ」を確認してください。

選考

【第1次選考】募集人員の90%まで、次のとおり算出したS1値を用いて選考します。

$$S1 = (a \times f) + (b \times g)$$

$$S1 = (a \times f) + (b \times g) + (d \times i) : \text{特色検査を実施した場合}$$

a: 調査書の評定(100点換算値) f, g, i は各高等学校で定めた比率

b: 学力検査の結果(100点換算値) ※ f + g = 10 (f, g は2以上の整数)

d: 特色検査の結果(100点換算値) i は1以上5以下の整数

【第2次選考】残りの募集人員に達するまで、次のとおり算出したS2値を用いて選考します。

$$S2 = (b \times g) + (c \times h)$$

$$S2 = (b \times g) + (c \times h) + (d \times i) : \text{特色検査を実施した場合}$$

c: 調査書の各教科における第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、評価Aは3点、評価Bは2点、評価Cは1点に換算した結果(100点換算値)

g, h, i は各高等学校で定めた比率(第1次選考とは異なる。)

※ g + h = 10 (g, h は2以上の整数)

i は1以上5以下の整数

調査書と実施した検査の結果をもとに、総合的に選考します。

※クリエイティブスクールでは、調査書の評定は使わず、観点別学習状況の評価を活用します。

※県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校では、調査書の評定は使わず、必要に応じて観点別学習状況の評価を活用し、総合的に選考します。

※県立横浜国際高等学校では、選考方法が異なります。詳細は「募集案内Ⅱ」の選考基準を確認してください。



	全日制	定時制(夜間以外)	定時制(夜間)	通信制
実施の選抜	二次募集(欠員がある場合のみ)		定通分割選抜	
募集人員	共通選抜の欠員数		募集定員の20% (共通選抜の欠員数も加える)	
志願	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙による出願(願書を直接提出) ● 一つの課程・学科・コース等に志願(志願変更が可能) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 紙による出願(願書を直接提出) ● 一つの課程・学科等に志願(志願変更が可能) 	
共通の検査	学力検査 (3教科(英・国・数))		学力検査 (3教科(英・国・数))	作文
特色検査	面接を実施する場合があります。		実技検査・自己表現検査・面接を実施する場合があります。	
選考	調査書と実施した検査の結果をもとに、総合的に選考します。		共通選抜の第1次選考と同様に定められた数値を算出し、選考します。	調査書と実施した検査の結果をもとに、総合的に選考します。

特別募集等

※共通選抜と同じ日程で実施します。(海外帰国生徒特別募集(後期募集)を除く。)
 ※それぞれの募集において、志願資格は、次の①、②の両方を満たす必要があります。
 ※実施校および選考については、「募集案内Ⅱ」の選考基準を確認してください。

海外帰国生徒特別募集

志願資格

- ① 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ② 原則として、保護者の勤務等の関係で、継続して2年以上外国に在住して帰国した日が令和5年4月1日以降の人(県立神奈川総合高等学校の後期募集の場合は、令和5年10月1日以降に帰国した人)

検査

学力検査(外国語(英語)、国語、数学)、作文および面接
 ※県立横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコースにおいては、特色検査(自己表現検査)を実施します。

在県外国人等特別募集

志願資格

- ① 実施校それぞれの課程の志願資格を満たしている人
- ② 外国の国籍を有する人(難民と認定された人を含む。)または日本国籍を取得して6年以内の人で、いずれの場合も、入国後の在留期間が通算で6年以内の人(令和8年2月1日現在)

※日本における学齢期以降(小学校第1学年以降)で計算します。

検査

学力検査(外国語(英語)、国語、数学)および面接

インクルーシブ教育実践推進校特別募集

志願資格

- ① 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ② 知的障害のある人で、高等学校での学習や生活について理解し、入学意欲のある人

検査

面接

中途退学者募集

志願資格

- ① 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ② 高等学校等に1年以上在籍した後、中途退学した人で、当該高等学校等の修得単位がある人

連携型中高一貫教育校連携募集

志願資格

- ① 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ② 在籍する連携型中学校長の推薦を得た人

※県立愛川高等学校との連携校：愛川町立の各中学校

※県立光陵高等学校との連携校：横浜国立大学教育学部附属横浜中学校

※別科の志願資格については、実施要領を確認してください。

2. 令和8年度の変更点

- 新たに在県外国人等特別募集を実施する高等学校

県立磯子工業高等学校(全日制 専門学科)

- 再編・統合する高等学校

県立田奈高等学校
(全日制 普通科クリエイティブスクール)
県立麻生総合高等学校
(全日制 総合学科)

募集停止



募集開始

再編・統合校
(全日制 総合学科クリエイティブスクール)
※県立田奈高等学校の敷地・施設を活用します。
※学校名は、今後正式に決定します。

県立小田原城北工業高等学校
(全日制 専門学科)(定時制 専門学科)
県立大井高等学校
(全日制 普通科クリエイティブスクール)

新校での募集



再編・統合校
(全日制 普通科クリエイティブスクール、専門学科)
(定時制 専門学科)
※県立小田原城北工業高等学校の敷地・施設を活用します。
※学校名は、今後正式に決定します。

- 学科改編する高等学校

県立神奈川工業高等学校
(定時制 専門学科(学年制))

募集停止



募集開始

県立神奈川工業高等学校
(定時制 単位制普通科、単位制専門学科)

県立神奈川総合産業高等学校
(定時制 総合学科)



県立神奈川総合産業高等学校
(定時制 単位制普通科)

- 募集停止する高等学校

・県立横浜翠嵐高等学校(定時制 普通科)
・県立磯子工業高等学校(定時制 総合学科)
・県立秦野総合高等学校(定時制 総合学科)
・横浜市立南高等学校(全日制 普通科)

・県立向の岡工業高等学校(定時制 総合学科)
・県立茅ヶ崎高等学校(定時制 普通科)
・県立伊勢原高等学校(定時制 普通科)

3. インターネット出願

2月に行う検査(共通選抜、特別募集等)では、インターネット出願システムによる手続となります。実際の操作については、「出願サイト簡易マニュアル」(11月頃発行予定)を確認してください。

募集期間前

STEP 1

・担任の先生から志願者アカウント作成のための案内プリントを受け取り、志願者アカウントを作成します。

STEP 2

・作成した志願者アカウントでログインし、志願情報の下書き保存をしておきます。(下書き保存をしなくても志願は可能です。)

志願情報申請期間

STEP 3

・志願情報を入力、申請します。
・受検料を納付します。(クレジットカード、コンビニ/ペイジー)

志願変更情報申請期間

STEP 4

(志願変更をする場合)
・担任の先生に志願変更を申し出ます。
・志願変更先の情報を入力、申請します。
・必要に応じて、受検料を納付します。(クレジットカード、コンビニ/ペイジー)

検査日前

STEP 5

・受検票を印刷し、検査当日に持参します。

合格発表日

STEP 6

・合否結果を確認します。

STEP 7

・高等学校からの案内(合格発表当日に受け取ります。)にしたがって、入学金を納付します。(クレジットカード、コンビニ/ペイジー)

4. 入学者選抜の流れ

2月に行う検査（共通選抜、特別募集等） ＜インターネット出願＞

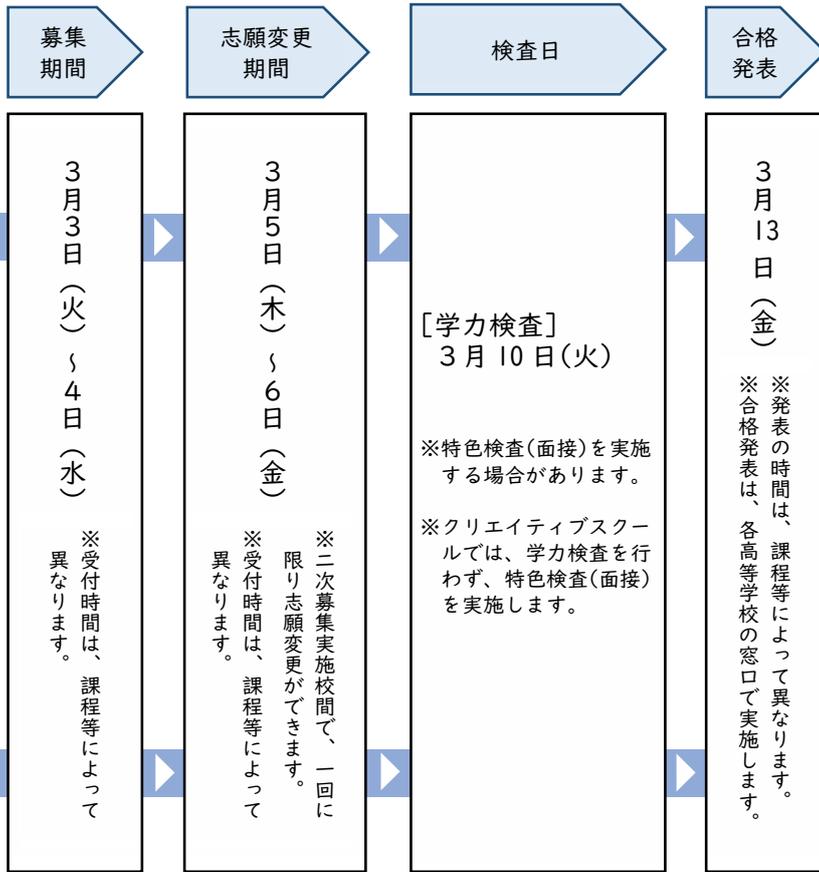
課程の区分	募集の区分	志願資格確認期間	募集期間	志願変更期間	検査日	合格発表
全 日 制	【一般募集】 【インクルーシブ教育実践推進校特別募集】	※志願予定先の高等学校窓口で手続をします。	【中学校長承認期間】 1月23日(金)～30日(金) 【志願情報申請期間】 1月23日(金)～29日(木)	【中学校長承認期間】 2月4日(水)～9日(月) 【志願変更情報申請期間】 2月4日(水)～6日(金)	[学力検査] 2月17日(火) [特色検査] 2月17日(火) 18日(水) 19日(木)	2月27日(金) 9時 ※当日、合格者は、合格した高等学校の窓口に行き、合格通知書および各種書類を受け取ります。 (時間の詳細は、各高等学校から案内されます。)
	【連携募集】					
	【海外帰国生徒特別募集】 【在県外国人等特別募集】 【中途退学者募集】	1月6日(火)～15日(木)				
定 時 制	【一般募集】 ・ 県立横浜明朋高等学校 ・ 県立川崎高等学校 ・ 県立厚木清南高等学校 ・ 県立相模向陽館高等学校 ・ 横浜市立横浜総合高等学校 ・ 川崎市立川崎高等学校		※この期間に志願の取消しはできません。	※異なる課程間でも、一回に限り志願変更ができます。 ※連携募集は、志願変更ができません。	※特色検査は、この日程の中から各高等学校が検査日を指定します。 ※クリエイティブスクールでは、学力検査を行わず、共通の検査として特色検査(面接)を実施します。 ※一部の学校で、2月20日(金)に特色検査を実施する場合があります。 ※追検査については、「募集案内Ⅱ」を確認してください。	
	【在県外国人等特別募集】	1月6日(火)～15日(木)				
	【一般募集】					
通 信 制	【一般募集】 ・ 県立横浜修悠館高等学校 ・ 県立厚木清南高等学校		募集期間 【志願情報申請期間】 1月23日(金)～2月6日(金) 【中学校長承認期間】 1月23日(金)～2月9日(月) ※志願変更はできません。	【作文】 2月17日(火) 18日(水) 19日(木) ※この日程の中から各高等学校が検査日を指定します。	[学力検査] 2月17日(火) [面接] 2月18日(水)、19日(木) ※面接は、この日程の中から高等学校が検査日を指定します。	
	横浜市立 横浜商業高等学校(別科)					

※志願手続の詳細については、志願のてびき(11月末頃発行予定)を確認してください。



二次募集 (共通選抜、インクルーシブ教育実践推進校特別募集)

<紙による出願>



入学手続、入学予定者説明会等、合格発表後の日程については、各高等学校で定めていますので、各高等学校にお問い合わせください。

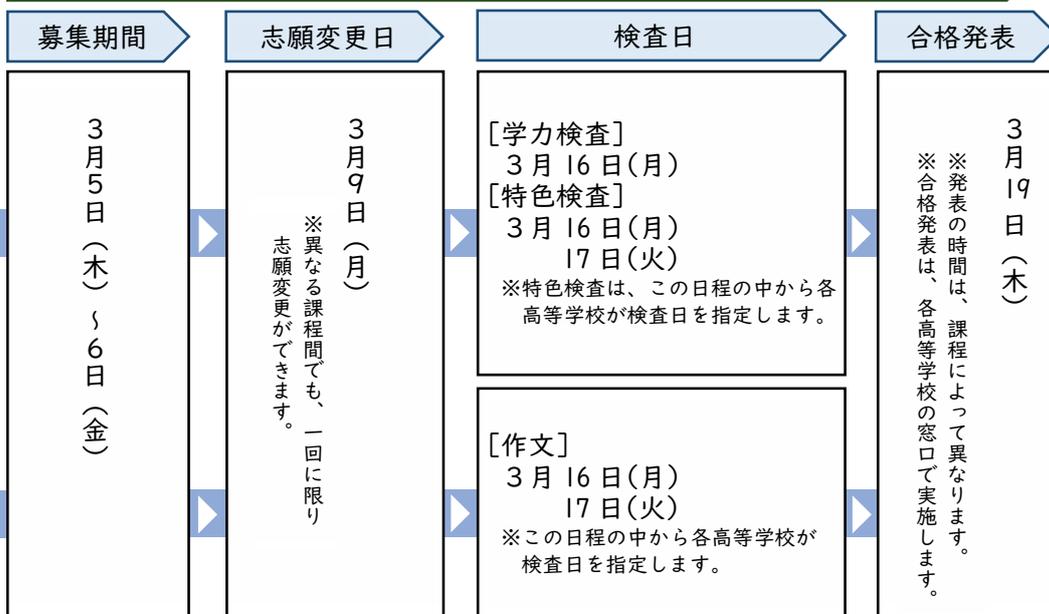
共通選抜二次募集と定通分割選抜は、両方に志願することができます。また、インクルーシブ教育実践推進校特別募集の二次募集と定通分割選抜についても、両方に志願することができます。

二次募集と定通分割選抜は、志願時において、令和8年度国・公・私立高等学校(高等専門学校を含む。)または特別支援学校に**合格している人(入学手続をしていない場合も含む。)**は志願できません。

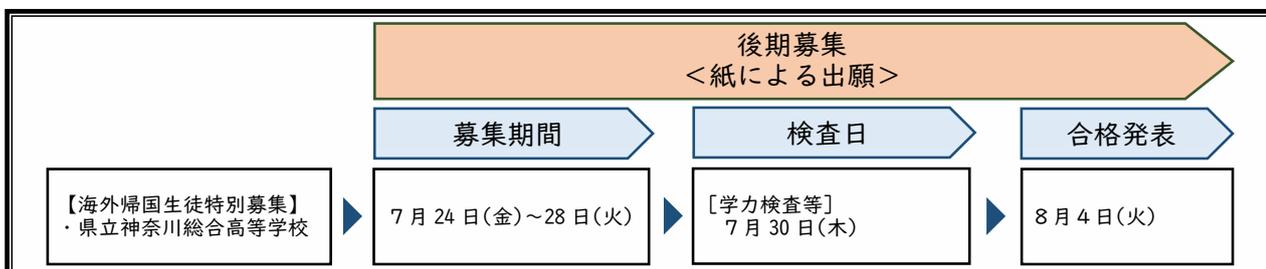
なお、二次募集は、欠員があった場合に必要に応じて実施する募集です。

※連携募集、海外帰国生徒特別募集、在県外国人等特別募集、中途退学者募集および別科では、二次募集は実施しません。

定通分割選抜 <紙による出願>



後期募集 <紙による出願>



5. 調査書の見本

中学校での学習の成果が記載されます。

調査書には、中学校第3学年の12月末までの内容が記載され、中学校から志願先の高等学校に送付されます。

中学校での様々な活動の状況や成果が記載されます。

第11号様式 令和4年度以降の卒業（見込）者用

調 査 書

※ 受検番号

志願先 高等学校	〇〇〇〇	立	〇〇〇〇	高等学校
	〇〇	科		(コース・部)
学籍の記録	フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇	性別	〇
	氏名	〇〇 〇〇	入学年月	平成(令和)〇年4月 〇〇〇〇 第 学年 (入学)編入学
	生年月日	平成 〇〇 年 〇 月 〇 日生	転入学年月	平成・令和 年 月 第 学年 転入学
	現住所	〇〇市〇〇町 〇〇丁目〇番〇号 〇〇マンション〇〇	卒業年月	令和 〇 年 3 月 同 中学校 (卒業見込)・卒業

各教科の学習の記録

総合的な学習の時間の記録

教科	観点別学習状況	2年		3年		学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
		評価	評定	評価	評定			
国語	知識・技能	A		B		2年	身近な環境問題について考える。	身近な環境問題として、プラスチックごみによる海洋汚染の現状と、それが生体にも与える影響
	思考・判断・表現	B	4	B	3			
	主体的に学習に取り組む態度	A		B				
社会	知識・技能	B		A		3年	地域に住む様々な国の人々を知る。	シブシブをもちに、それぞれの国の文化や、日本で暮らして感じていること等をまとめ、発表した。
	思考・判断・表現	B	3	B	4			
	主体的に学習に取り組む態度	B		A				
数学	知識・技能	B		B		3年		
	思考・判断・表現	C	2	B	3			
	主体的に学習に取り組む態度	C		B				
理科	知識・技能	A		A		5年	国語係(1年) 旅行委員(2年) 美化委員(3年) 文化祭実行委員(3年) 柔道部(1~3年)	中学校3年間での主な特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事)と部活動の所属が記載されます。
	思考・判断・表現	B	4	A	5			
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
音楽	知識・技能	B		B		4年		
	思考・判断・表現	B	3	A	4			
	主体的に学習に取り組む態度	B		A				
美術	知識・技能	B		B		4年		
	思考・判断・表現	A	4	A	4			
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
保健体育	知識・技能	A		A		5年	委員会活動や学校行事において、常にリーダーシップを発揮し活躍した。特に、3年次には美化委員として清掃活動に積極的に取り組んだ。柔道部では、部長として部員をよくまとめた。	中学校3年間を通じて、学校生活全般にわたる行動の状況や優れた活動等について、具体的な事実をもとに記載されます。
	思考・判断・表現	A	5	A	5			
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
技術・家庭・ (外国語)	知識・技能	A		A		5年		本書の記載事項に誤りのないことを証明する。 令和 〇 年 〇 月 〇 日 中学校名 〇〇〇 中学校 校長氏名 〇〇 〇〇 記者氏名 △△ △△
	思考・判断・表現	A	5	A	5			
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
小計 ※								
計 ※								

各教科の観点別学習状況の評価が3段階で記載されます。

総合的な学習の時間での具体的な活動内容が記載されます。

総合的な学習の時間での具体的な活動の取組等が記載されます。

第2学年の学年を通じた、各教科の総合的な評価が5段階で記載されます。

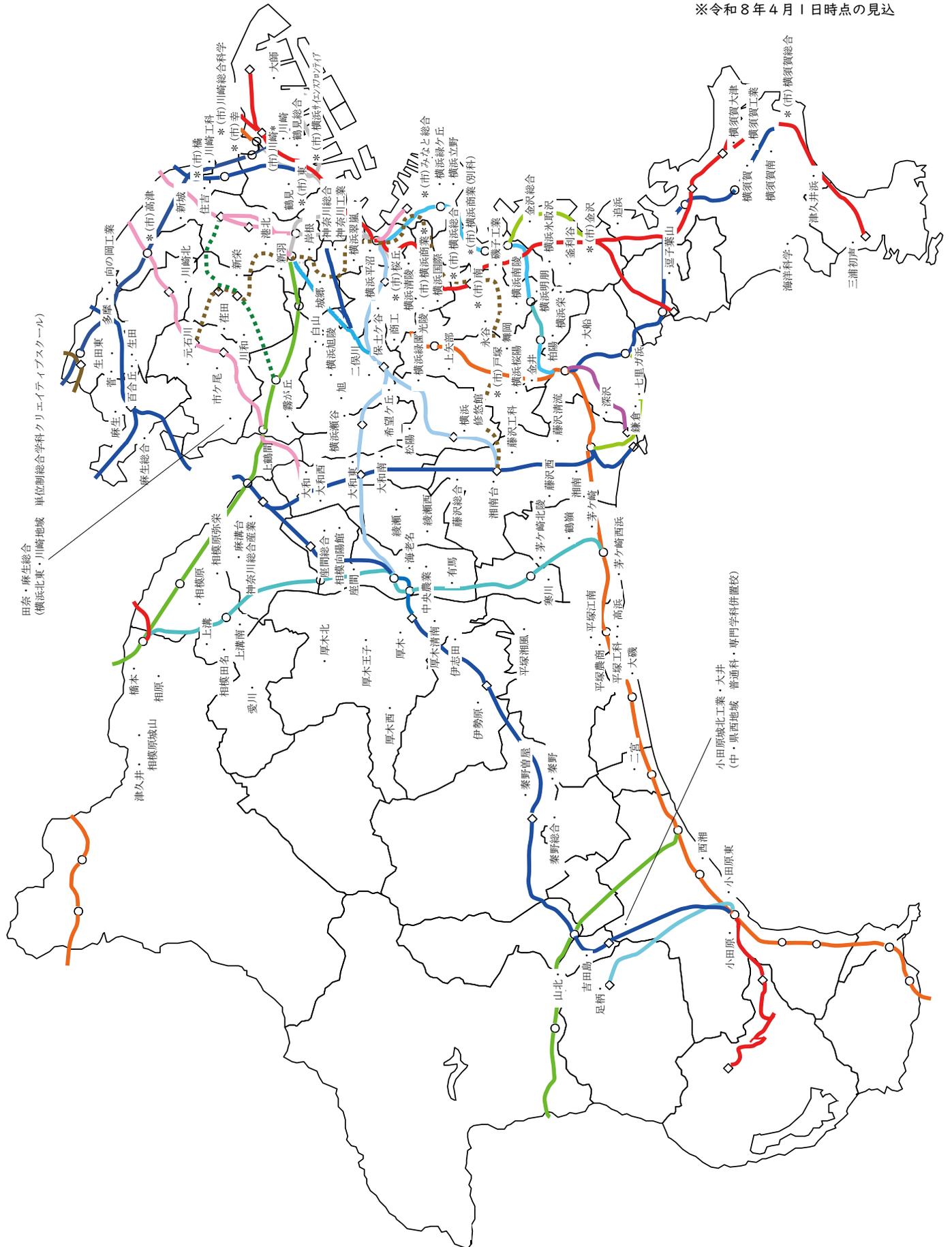
12月末までの第3学年の各教科の総合的な評価が5段階で記載されます。

中学校3年間を通じて、学校生活全般にわたる行動の状況や優れた活動等について、具体的な事実をもとに記載されます。

◇ 「各教科の学習の記録」の欄について、中学校学習指導要領に示す目標に照らして総合的に評価した、3段階による観点別学習状況の評価(A、B、C)および5段階による評定(いわゆる絶対評価)であれば、私立中学校または県外の中学校出身であっても、神奈川県内の公立中学校出身者の評定と同等に扱われます。

6. 神奈川県公立高等学校の所在地

※令和8年4月1日時点の見込



発行：令和7年7月

発行者：神奈川県教育委員会 教育局 指導部 高校教育課 入学者選抜・定員グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 TEL (045)210-8084 (直通)